

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 20 年 6 月 30 日(月)	開催時刻	13 時 30 分から 17 時 30 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 20 年度第 3 回)		
出席者	委員 19 名(欠席者 1 名)		
会議次第			
1 開会(浅野まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ(小林会長) 本日はわがまち魅力アップ応援事業の選考審査を予定しており、厳正な審査を進めてまいりたい。			
3 会議事項			
(1) わがまち魅力アップ応援事業選考審査			
ア 提案事業プレゼンテーション			
〔個性あるふるさとづくり応援事業〕			
提案事業 1 歴史的街並みを保存、活用し発信する事業～柳町ミュージアムプラン			
事業概要			
【事業の目的】			
上田市は城下町として北国街道の宿場町として発展し、近年は蚕都として栄えてきた。柳町は上田の中心地にあつて、それらを示す歴史的街並み(町屋郡)が現存している。それらを建築史的に調査・保存活用し、紹介するためのマップとパンフレットを作成する。			
【事業の効果】			
街ぐるみで「歴史的・地域的資源の保全と活用」と外部への紹介が期待できる。			
【事業費等】			
総事業費 450,000 円 うち補助希望額 450,000 円			
主な質疑・事業申請者からの回答			
委員：パソコンで作成しているのに、2 年目からなぜ印刷になるのか。			
事業申請者：製作のみパソコンで行い、印刷はお願いする。(製作費がかからず、安価にできる。)			
委員：マップを色々なパターンで作るのか。			

事業申請者：専門的な学術版と観光版を作成したい。

委員：2年目以降イベントの開催とあるが、具体的に計画はあるか。

事業申請者：町並み散策や全国の柳町という町名でサミットを開きたいというプランを考えている。

委員：今までの保存のための費用は自治会から出ているのか。

事業申請者：5～6年前までは個人負担だった。昨年石畳が整備され、数年前から建物の修繕には一部補償をしてもらえるようになった。

提案事業2 「押出川流域」ウォーキングトレイル整備事業

事業概要

【事業の目的】

地域住民が自然環境保全の大切さを学び、環境を活かしたふれあいの里を創ることで環境を考える場を目指す。また、押出川の落差を利用し小水力発電所を作り、環境問題教育にも取り組む。

【事業の効果】

行政で整備された浪漫散歩道にこの自然豊かなルートを延長させ、子供たちの遊び場・学びの場、住民の健康づくりの場、環境問題を考える場として活用できる。

【事業費等】

総事業費 120,000 円 うち補助希望額 120,000 円

主な質疑・事業申請者からの回答

委員：染屋台グリーンベルトとの連携は考えているか。

事業申請者：染屋等の自治会と連携している。

委員：小水力発電の利用については。

事業申請者：水が放流されているので、資金を集めて小発電所を作り、環境問題の施設が出来れば良いと思う。

委員：実際にウォーキングトレイルできる道は可能なのか。地域の合意はどうか。

事業申請者：私有地もあるので協定を結んで開放してもらおう。地域の方に一部内諾はいただいている。

〔特色あるまちづくり応援事業〕

提案事業1 真田幸村ファンの集い街中イベント

事業概要

【事業の目的】

市で行われる千本桜まつりや紅葉まつりで来客される観光客、地元市民を中心商店街へ誘客するルートづくりのきっかけをつくる。今年度は写真展や市民講座を計画、次年度以降は真田幸村サミット、コンテストを計画している。

【事業の効果】

市民協働による真田を切り口とした、上田らしい中心市街地の賑わいの創出につながる。

【事業費等】

総事業費 259,000 円 うち補助希望額 259,000 円

主な質疑・事業申請者からの回答

委員：大手町から原町と言うことだが、他の町とはどうか。

事業申請者：柳町からの上田市の回遊性と駅からの回遊性について考えている。全体の回遊性を目指したい。

委員：次年度の継続予算が増えているが、どうしてか。

事業申請者：サミットを大々的に進める前に協働ベースを作ってから、サミット等を行いたい。

委員：現在ファンはどの程度いるのか。

事業申請者：地元よりも外部の方々が盛り上がっている印象があるので、全国でもかなりいると思う。

委員：写真展のイメージはどういうものか。

事業申請者：今年 2 月に、真田ゆかりの写真展を開催したので、数百枚ある。パネルもできている。

委員：幸村コンテストの内容はどういうものか。

事業申請者：街中ふれあい広場にステージを作って、甲冑を着ていただき、屋台市と一緒に開催したい。

提案事業 2 蚕都上田プロジェクト～蚕都上田のつるし飾り展～

事業概要

【事業の目的】

当地で開催された「シルクサミット 2007in 蚕都上田」を起点として、蚕都上田に残る伝統的な和布（上田紬）等を使った「つるし飾り」と蚕都上田にちなんだ商品の展示販売や野点による抹茶のふるまい（蚕都の菓子）、ミニコンサートなどを蚕都上田の象徴的な建物である常田館において実施し、地域資源のPRを行う。

【事業の効果】

蚕都上田としての地域資源のPRと情報発信を行う。

【事業費等】

総事業費 1,100,000 円 うち補助希望額 1,000,000 円

主な質疑・事業申請者からの回答

委員：布代を相当計上しているが、どうしてか。

事業申請者：上田では絹の布で作る。現在は余り布で作成していないので、収支予

算書の金額が必要となる。

委員：抹茶の振る舞いなど、茶道の先生にお願いするのでなく、会員の中で対応できないか。

事業申請者：まだ不明確で、予算は立てたがはっきりしない。

委員：生地等に相当の金額の支出となっているが、買ってまでつくる必要があるのか。

事業申請者：現在は買わないとできない。上田市内の着物をレンタルする金額も含まれている。

委員：作品に上田紬をあまり扱っていないのではないか。また、つるし飾りに他のイベントをつけたというイメージがする。

委員：展示販売とあるが、今までも販売はしていたのか。

事業申請者：手間がかかるので、小さなものだけ販売していた。

提案事業3 上田 goes on

事業概要

【事業の目的】

中心市街地の空洞化が進行している状況にあるため、中心市街地の賑わいと魅力を取り戻し、多くの若者を中心市街地に呼び込み、地域経済の活性化を図ることを目的として、本イベントを開催する。イベントにあたり商店街マップを作り、協力された方や商店街を盛り込み、中心市街地に足を運ぶきっかけをつくる。

【事業の効果】

本イベントを中心市街地の商店街で開催することにより、多くの若者を中心市街地へ呼び込み、賑わいの創出と人々の交流促進を図りたい。

【事業費等】

総事業費 2,266,000 円 うち補助希望額 1,000,000 円

主な質疑・事業申請者からの回答

委員：海野町で開催するにあたり、商店街の賛同は得ているか。

事業申請者：事前に内容についてお話ししてある。

委員：経費の関係で、補助金以外に広告収入の 800,000 円は見込めるのか。出演者はどのような方々を予定しているのか。

事業申請者：広告に関しては、80%くらいは賛同をいただいている。出演予定者はジャズミュージシャンで、知名度も高い方を考えている。

委員：1日のイベントで金額が大きいので、どこか借りて開催した方が良いのではと思うがどうか。

事業申請者：1日だけだが、話題性を考えて大きなイベントにしたい。場所は、街にこだわって、生活している場所で開催したい。

委員：補助金 1,000,000 円が交付されなければ、この事業はどうなるか。

事業申請者：開催しない。

委員：雨天の場合どうするのか。

事業申請者：雨天の時は場所を変えて開催する予定である。

委員：一流の方をお呼びするのなら、入場券を考えているか。

事業申請者：考えていない。店舗もお借りして、いろいろな音楽をやりたい。

(2) 信州上田観光ビジョンについて (担当課：商工観光部観光課)〔報告〕

【報告要旨】

「信州上田観光ビジョン ～旅のミュージアム都市上田の創造～」(別添資料)

- ・上田市の魅力をより高めるための課題
- ・地域を元気にする基本コンセプトの確立
- ・多様な地域資源が生かされた「旅のミュージアム都市上田」の創造
- ・訪れた皆さんに喜んでもらえる観光戦術を考える
- ・観光まちづくりへの道
- ・観光ビジョンの実現に向けて

【主な質疑・回答】

委員：観光客が 30 万人以上来たということは大変なことだが、上田市はどのくらい金額をかけて、収入はどのくらいあったのか、数字的に知りたい。

担当課：千本桜まつりに関しては、商工課でアンケートをして集計している。まずは知名度を上げて、お客様に来ていただこうと考えている。

委員：上田インターから降りて、道がわからない方が結構いたようだが、案内板を出した方がよいと思う。また駐車場代が無料だが、観光バスなど料金をいただいてもいいと思う。

担当課：いつまでもサービスだけというわけにいかないなので、そういったことも検討した方がよいと思う。

(3) わがまち魅力アップ応援事業選考審査

イ 提案事業審査

〔個性あるふるさとづくり応援事業〕

主な意見等

提案事業 1

委員：自治会全体の効果が認められない。

委員：スケールの点で、地元の人たちにも訪れたいと思わせるものが必要だ。

委員：これまでも案内板は作ってきているので、もっとテーマを絞って中身をしっかり考えてほしい。

委員：街並みを考えて人が集まるように、補助金を有効に活用してほしい。

提案事業 2

委員：この事業にかかわらず、補助金を出す以上は、市が厳しく監督してほしい。

事務局：当然のことと考えている。報告会を開きたいと考えている。

決定事項

提案事業 1 については条件付採択とし、附帯意見をつけて市長へ意見書を提出することとする。提案事業 2 については採択とし市長へ意見書を提出することとする。

〔特色あるまちづくり応援事業〕

主な意見等

提案事業 1

委員：中心市街地の誘客が目的になっているが、受け入れる町になっていない。

委員：子供を巻きこむイベントが欲しい。

委員：周知 PR をどのようにしていくのか。

提案事業 2

委員：同好の士が集まって行って、公共性が感じられない。

委員：女性が対象になってしまう。また、申請額が大きい。

委員：つるし雛イベントに、コンサートや抹茶の振る舞いなどがついてきているのが気になる。

提案事業 3

委員：計画をつめて、海野町の皆さんの了承を得てから考えて欲しい。

委員：1日のみのイベントで、申請額が大きい。

委員：同好者のイベントというイメージで、公共性に乏しい。

決定事項

提案事業 1 については、条件付採択とし、附帯意見をつけて市長へ意見書を提出することとする。

提案事業 2 及び 3 については、不採択とする。

事務局報告

下記事業については、補助金希望額 5 万円未満の申請であり、事務局において書類審査を実施したところ、内容等妥当であると認められたことから、補助金交付対

象事業としたい。

事業名：うえだ洋館物語

【事業の目的】

中央通りや海野町通りはきれいに整備されたが、まち中を歩く人は減少しており、まちの活気は低下している。魅力ある洋風建物がまだたくさん残されていることを知ってもらい、できるだけ多くの市民が中心市街地のまち歩きを楽しんで欲しい。

【事業の効果】

中心市街地には約 40 棟の洋風建物が残されており、これら蚕都上田の遺産を市民が再認識し、まず自らがまち歩きを楽しむことによって、外からも人がたくさん来るようになり、まちが活性化する。

【事業費等】

総事業費 59,900 円 うち補助希望額 49,000 円

4 その他

次回会議開催について

平成 20 年 7 月 28 日（月） 開催予定

閉 会